

船舶事故等調査報告書

平成22年4月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第163号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年11月9日 14時30分ごろ	
発生場所	大分県杵築市臼石鼻北東方沖 臼石鼻灯台から真方位033° 5.7海里 (M) 付近 (概位 北緯33° 29.2′ 東経131° 46.0′)	
事故等調査の経過	平成21年11月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 ^{だいゆう} 大祐丸、199トン 131742、寿汽船株式会社 B 漁船 ^{たいこう} 太閤丸、4.99トン OT3-8487（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 一等航海士、五級海技士（航海） B 船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	A 右舷中央部外板ペイントはく離 B 右舷船首部外板擦過傷	
事故等の経過	A船は、船長ほか2人が乗り組み、一等航海士Aが単独で当直につき、約10ノット（kn）の速力で、手動操舵により北東進中、B船は、船長1人が乗り組み、約9knの速力で自動操舵により南西進中、平成21年11月9日14時30分ごろ、臼石鼻北東方沖において、A船右舷中央部とB船右舷船首部が衝突した。 その後、A船及びB船は、大分県守江港に入港した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 2、視程 約2M以上 海象：うねり なし、波浪 穏やか	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、臼石鼻北東方沖を北東進中、一等航海士Aが、針路を北東にとった際、前方を見て他船を認めなかったことから、他船はいないものと思ひ込み、考え事をして、B船に気付かなかった可能性があると考えられる。 B船は、船長Bが、漁場を発進する際、前方を見て注意を引く他船を認めなかったことから、他船はいないものと思ひ込み、船尾甲板で下を向いて漁の後片付けを行いながら南西進し、見張りを行っていなかったことから、A船に気付かなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、臼石鼻北東方沖において、A船が北東進中、B船が南西進	

	<p>中、A船が他船はいないものと思い込んで考え事をしてB船に気付かず、また、B船が他船はいないものと思い込んで漁の後片付けをして見張りを行わなかったため、両船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>
--	---